

クラス番号	628	担当教員名	菊池 遼
テーマ	市民社会（NPO）と福祉が目指すところ—いかに社会正義を実現するか		
著書・論文	「被災地・者の〈自立〉に向けた学生ボランティアの葛藤と模索」（共著）『東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録』 「コミュニティとの協働から学ぶサービス・ラーニング」（共著）『多様性が拓く学びのデザイン』		
研究課題等	『非営利組織の持続可能性-東日本大震災の事例から-』（単著）（博士学位論文） 『東日本大震災後設立の NPO における活動実態と今後の展望 調査報告書』（共著） 「被災地のフェーズ変化に対応した遠隔地からの中長期的支援：山形から石巻への支援を行う大学生の団体「START Tohoku」を事例として」（共著）		

ゼミナール概要

キーワード：市民社会論、非営利組織論、災害福祉

目的、内容、方法等：

ソーシャルワークの基盤は「人権」と「社会正義」です。これまでに受講した授業でもそのような基礎の概念を教えてくれた先生は多かったのではないのでしょうか。ただ、この「人権」と「社会正義」の実現のためには、哲学、法学、政治学、経済学、社会学、心理学など、社会科学分野の学術的知見を総動員しないと全容を掴むことは困難です。どうして福祉を学びにきたのに他の学問分野を学ばなければならないのかと疑問に思う人も多いかもしれません。しかしながら、そういった狭い見で社会福祉を規定するのではなく、幅広い視点で社会福祉を捉えていくことで、ゼミ生各々が目指すべき社会福祉像を作り上げていくのが本ゼミの目的です。

社会福祉を捉えていく上でも教員が専門分野としているのは NPO を中心とする市民社会論です。NPO から市民社会、さらに社会福祉まで展望したい人は大歓迎です。教員はその他の社会科学分野については門外漢ですが、一定の知識は備えています。意欲的に哲学、法学、政治学、経済学、社会学、心理学から社会福祉を捉えてみたい人もまた大歓迎です。そういった方はぜひ一緒に学んでいきましょう。

また実際の現場を見ないことには理論のイメージが掴めません。同時に現場の事ばかり知っていても理論の話が分からないと最終的な目的を見失ってしまいます。常に福祉の理論と現場を行き来することで、確固たる市民社会像をつくり上げていってください。また、ゼミ単位で活動するというよりも、個人の興味関心に沿ってフィールドを開拓して行ってほしいと思っており、オーダーメイドの学習にさせていただきます。そのため、既存の枠組みに沿っていくほうが楽という人には向いていないゼミかもしれません。積極的に自分の興味関心を掘り下げていく、そのようなゼミにしていきたいと思います。

最後に、災害に興味のある方もまた大歓迎です。災害現場での支援経験もあるので、そういった知見からもいろいろと伝えられることがあろうかと思えます。ここ近年は災害も多いですし、より災害に対する関心も高まっています。一つ上の世代の先輩たちも災害をテーマにしている学生のほうが多いです。

授業計画：

- 3 年前期 現場視察、教員による理論・概念の整理、テーマごとに分かれてグループ研究
- 3 年後期 前期の内容を踏まえてフィールドワークを実施、理論の・概念の整理
- 4 年前期 卒業論文の構想とフィールド調査の計画立案
- 4 年後期 卒業論文の執筆とゼミ報告書の作成



人を拘束するのが好きではないので、口酸っぱくあれこれ言うことはしません。積極的に質問などをしてくれる学生については丁寧に対応いたしますが、ゼミの活動で手取り足取り教えるまでには至らないでしょう。あまりティーチングは得意ではないので、基本的にはコーチングスタイルでいきます。また、誰かがやってくれるからいいやではなく、いつか自分がやらないといけない時がくることを知しましょう。自発性が大切です。また、多くの人が頑張っている中で、発生した社会の隙間を埋めるために頑張っているのが市民活動（NPO）です。そのような人々の努力もあって社会は回っています。そんな社会の仕組みを、福祉や市民社会の視点から捉えていきましょう。